

USHA JAPAN 第 50 回定例会議事録

開催日時：2024 年 10 月 19 日（土）15:00～16:10

開催場所：Zoom

議長：酒井

書記：苗村

出席者：酒井、神崎、河田、Purushottam、苗村（順不同、敬称略）

1. 報告事項

1) 動画媒体作成の進捗状況について（苗村）

「性の健康編」、「生活のマナー編」の動画作成の進捗は、ネパール語の音声入力を行っている段階であったが、ネパール水害の復旧活動等の要因により音声入力作業が予定とは異なり遅れている状況にある。「異文化適応編」の媒体に関しては音声入力作業の予定や HP 掲載について検討している段階である。

2) 現地活動（酒井）

現地活動の進捗は、ネパール現地におけるベースラインサーベイが終了し、介入に向けて様々な調整をしている段階である。

3) ネパール現地の洪水被害（Purushottam）

ネパールでは 9 月末日にモンスーンによる大規模洪水被害があり、特に南部のタライに被害が集中している等、現状についての報告がなされた。

4) 事務局における活動（Purushottam・酒井）

当団体の事務局であるディープスリーカレーにおいて、当団体メンバーは在日ネパール人を対象に日本語の勉強会を開催しており、開催から約 2 か月が経過する現在の参加者は 12 人である。勉強会は 22 時半から 23 時半までの時間に対面で行っているとの報告があった。その他、YouTube「わわのわチャンネル」を通して「やさしい日本語と防災」についての内容を発信するなど広範囲に活動している。（Purushottam）

近年の医療通訳のニーズの高さに応じてやさしい日本語が使える外国人への期待も同時に高まっている現状にあり、当団体は上記の活動に参画する等の積極的な連携を目指している。また、今後も他団体や地域のネパール人との連携を積極的に行い、活動していく予定である。上記の動画に関しては当団体の HP 上に掲載する予定である。（酒井）

5)補助金について（酒井・河田・神崎）

補助金の獲得に向けて公募情報に関する情報共有が行われた。

2. 審議事項

1) 一般会員の会議の参加について（酒井・神崎）

団体の現状や今後の活動に関する方向性の共有と更なる交流を目的として、一般会員が議会に参加することについて審議がなされ、団体活動への一般会員の参加枠組みを検討していく運びとなった。

2) 会費についての審議（酒井・神崎・河田・苗村）

昨年度に新体制に移行し、会員の年会費が一口 5000 円に改訂された。しかし、第 6 回総会において一般会員や学生会員の年会費設定について提議があったことを受け、本日検討がなされた。一般会員・学生会員の会費について、会員の負担と活動費の側面を考慮し、一律一口 2000 円が妥当なのではないかという意見で全員一致し、可決が決定した。

以上

次回会議：11月16日（土）15：00～